

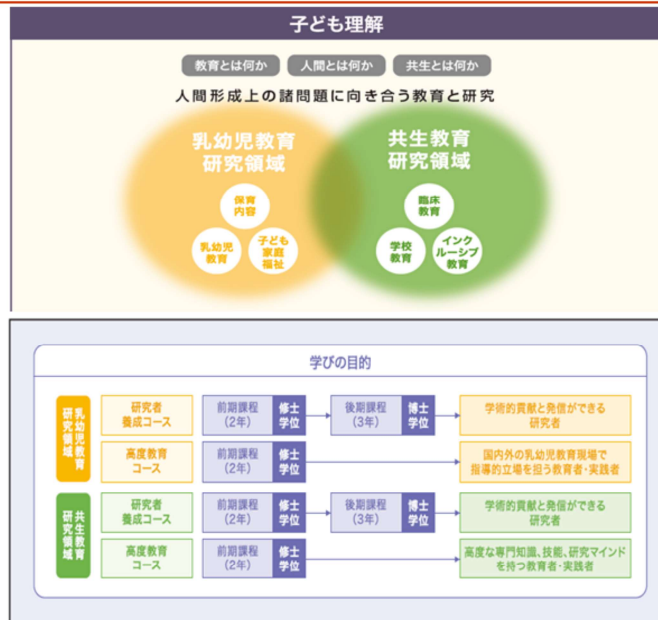
関西学院大学大学院 教育学研究科について



Graduate School of Education

教育学研究科は2009年4月に西宮聖和キャンパスに開設されました。関西学院のなかでは比較的新しいですが、元々、関西学院大学大学院文学研究科の臨床教育学専攻と、聖和大学大学院教育学研究科の幼児教育学専攻を母体にし、両大学院の教育学研究の伝統を継承しています。

教育学研究科の構成



本研究科の構成図です。教育学専攻内には乳幼児教育研究領域と共生教育研究領域の2つの領域があります。また各領域の前期課程には研究者養成コースと高度教育コースを設けています。

教育学研究科の教育理念と構成

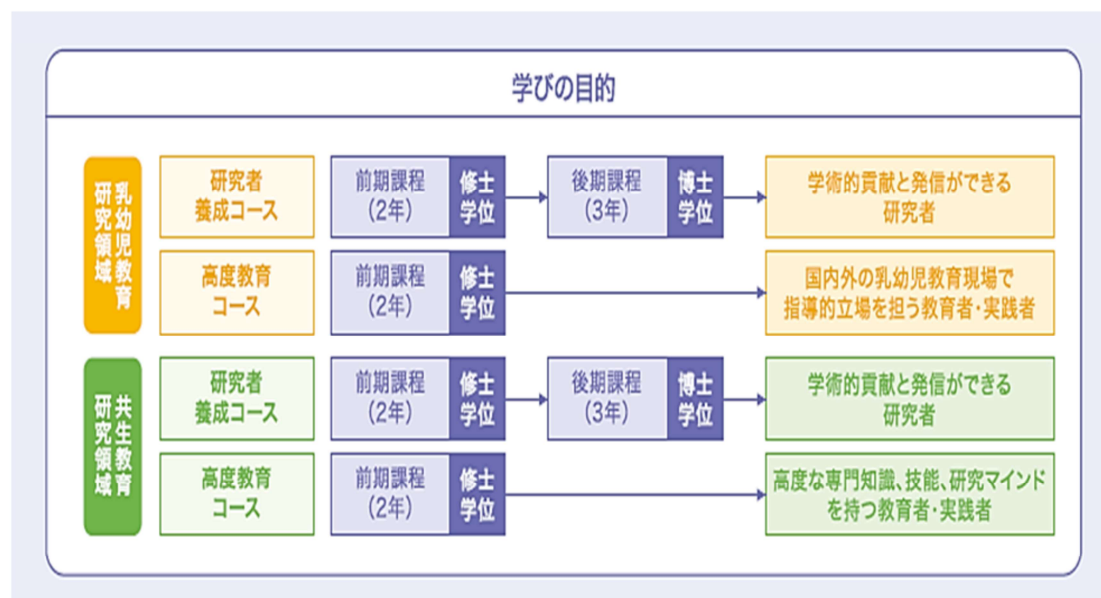


教育学研究科の教育理念は、「子ども理解」をもとに、「教育とは何か」「人間とは何か」「共生とは何か」を根源的に問いながら生涯にわたる人間形成上の問題を解決して導く教育と研究を行うことです。

乳幼児教育研究領域では、乳幼児教育に関連する現場（幼稚園、保育所、認定こども園、保育所以外の児童福祉施設等）での実践や子どもの家庭・地域による教育に密着した研究、児童期以降の発達との連続性や小学校教育との円滑な接続、乳幼児を取り巻く環境の多様性を視野に入れた研究を重視しています。

共生教育研究領域では、「共に生きる」をキーワードとして、共生する地球社会、共生する家庭・地域・学校の在り方、そこにおいて相互に学び合い、成長し合う教育の在り方を、学校教育学や臨床教育学等それぞれの専門分野の知見に基づいて探究することを重視しています。

学びの目的



各研究領域内には研究者養成コースと高度教育コースがあります。

研究者養成コースは保育学・教育学研究領域における研究者を目指す人、保育学・教育学研究領域における専門性を高めるために学びを深めたい人・学び続けたい人を対象にしています。前期課程から後期課程への5年間の学びを見据え、研究者に求められる資質の育成をねらいとしたカリキュラムに基づき、保育学・教育学を多角的に探究しながら、各々の研究課題に取り組みます。

高度教育コースは、高度な保育・学校教育の実践者を目指す人を対象としています。専門的教育者に求められる資質の育成をねらいとした前期課程2年間のカリキュラムによって、保育・教育学を多角的に探究しながら高度な専門性を培います。

ディプロマ・ポリシー（学位授与に関する方針）

教育学研究科は、教育研究上の目的に基づき、博士課程前期課程と博士課程後期課程において、ディプロマ・ポリシーに定める要件を満たす学生に対し、以下の学位を授与する。

前期課程→修士（教育学）

後期課程→博士（教育学）

教育学研究科では修了時に学生が身に付けるべき能力を目指すことを教育目標とし、その能力をディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に定めています。身に付けるべき能力は、本研究科が教育課程として定める単位の修得と、学位論文審査の合格により獲得されたと見なし、前期課程においては修士学位、後期課程においては博士学位を授与します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

博士課程前期課程

乳幼児教育研究領域カリキュラム
共生教育研究領域カリキュラム

表) カリキュラム科目区分と必修単位数

科目区分	研究者養成コース	高度教育コース
研究基礎科目	12	2*
領域専門科目	—	—
フィールドワーク科目	—	2
研究演習	8	8
修了要件修得単位数	32	32

*選択必修

教育学研究科では教育目標を達成するために、カリキュラム・ポリシーに基づいてカリキュラムを編成しています。これは、前期課程のものです。

乳幼児教育研究領域、共生教育研究領域は、ともにそれぞれの目的に応じたカリキュラム編成を行っています。各研究領域には、単独で開講されている科目に加え、包摂的な学びを可能とするために共通開設科目を設けています。

この表には、カリキュラム科目区分と必修単位数を示しています。各領域のカリキュラムは、研究基礎科目、領域専門科目、フィールドワーク科目、研究演習から構成され、研究者養成の基礎となる科目や教員に求められる高度な専門性を培う科目を配置しています。

研究基礎科目、領域専門科目には、教育学を体系的に学ぶことができるように科目が配置されています。研究演習においては自らの研究を論理的に展開できる学問的な能力の育成を高める指導・助言が行われ、修士論文の作成を最終目標としています。

各領域内の「研究者養成コース」と「高度教育コース」は、コースの目的に応じて履修すべき科目を各研究領域のカリキュラムから選びます。両コースともに、修士学位取得に必要な単位数は32単位であり、コースごとに必修科目が定められています。研究者養成コースにおいては、5年間の博士課程を見据えたコースワークに基づき研究基礎科目を中心に12単位の必修科目が定められています。「高度教育コース」においては、研究基礎科目2単位およびフィールド科目2単位の必修以外は、すべて選択科目とし、前期課程の2年間で専門的教育者に求められる高度な専門性を幅広く学ぶことができるようになっています。

前期課程フィールドワーク

テーマ	フィールドワークの目的	フィールドワークの内容
理科教育 環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ① 都市開発による水田の孤立化が与える水田生態系への影響とその教材化 ② 学校のビオトープに生息する生物相調査とその教育化 	<ul style="list-style-type: none"> ① 西宮市内・宝塚市内の孤立化した田んぼと孤立化していない田んぼの生物調査とその教材化。合計6筆の水田で調査を毎月実施。 ② 西宮市内の小学校8校のビオトープを毎月調査。イトトンボの行動範囲を調査している。
保育思想	<ul style="list-style-type: none"> ① デンマークの幼児教育および保育者養成の歴史を知る ② 養成校や保育現場での男性保育者の役割と現状を知る 	デンマークの保育者養成校と保育現場を訪ね、男性保育者の悩みややりがい、今後の保育における男性保育者の見通し等についてインタビューを行う。
食育	研究課題「中国α省の小学校における昼食の実態調査と給食導入への動向（仮題）」に向けて <ul style="list-style-type: none"> ① 学校給食の知識と理解を深めるため ② 調査方法を学ぶため 	尼崎市内小学校における給食や食育活動を観察、栄養教諭や担任へのインタビューなど。

フィールドワーク科目では、乳幼児教育や初等・中等教育に関連する現場等での実践研究に取り組み、理論と実践の往還を重視しています。スライドは、過去に実施された前期課程フィールドワークの事例を紹介しています。

副専攻 国連・外交コース



詳細は、国連・外交統括センター まで

関西学院大学大学院では、世界の公共分野で活躍する人材を育成するために、大学院副専攻プログラムとして国連・外交コースを設置しています。国連や国際機関で働くためには、大学院修士以上の専門性、外国語能力、実務経験が必須です。

- 国際機関を志望する大学院生は、所属研究科での学位取得とともに副専攻として国連外交コースを履修できます。
- 授業は全科目英語で実施され、キャリア支援も手厚く行われます。コースの受講料は無料です。大学院の学費のみでこのコースを履修できます。
- 希望者は、大学院出願・入試と同時期に、コース履修審査を受けることとなります。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）



博士課程後期課程

研究演習： 指導教員の下で博士論文を作成

教育学特殊講義： 様々な領域への学びと探究を促す

後期課程のカリキュラムにおいては、リサーチワークとしての研究演習、コースワークとしての教育学特殊講義があります。教育学特殊講義は、様々な領域への学びと探究を促すことがねらいです。また、研究演習においては、学位論文提出までの間、指導教員を中心とした指導・助言など、博士学位を取得するためのきめ細やかな指導が行われます。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

博士課程前期課程

研究者養成コース

1. 保育学・教育学領域における**研究者をめざす者**。
2. 保育学・教育学領域における学部卒業程度の専門知識を獲得し、日本語の論理的な文章表現能力を有する者。
3. 研究活動に必要となる保育学・教育学領域における**英語文献読解**のための基礎的能力を有する者。
4. 関西学院のキリスト教主義に基づく教育理念と本研究科の教育研究上の目的に共感する者。

教育学研究科は、これまで説明しました教育理念や教育目的に基づき、入学者受け入れ方針であるアドミッション・ポリシーを定めています。スライドには、前期課程研究者養成コースのアドミッション・ポリシーを示しています。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

博士課程前期課程

高度教育コース

1. 研究マインドをもった高度な保育・学校教育の実践者をめざす者。
2. 保育学・教育学領域における学部卒業程度の専門知識を獲得し、日本語の論理的な文章表現能力を有する者。
3. 保育・教育現場において奉仕的なリーダーシップを発揮することを自己の使命であると自覚し、学問を通じてさらなる研鑽を積みたい者。
4. 関西学院のキリスト教主義に基づく教育理念と本研究科の教育研究上の目的に共感する者。

高度教育コースのアドミッション・ポリシーです。

2と4につきましては研究者養成コースと同様です。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

博士課程後期課程

1. 保育学・教育学領域における研究者として自立し、さらなる研究活動を自ら推進する能力を有する者。
2. 保育学・教育学領域における修士課程修了程度の専門知識を獲得し、優れた日本語の論理的な文章表現能力を有する者。
3. 研究活動に必要な保育学・教育学領域における英語文献読解のための優れた能力を有する者。
4. 関西学院のキリスト教主義に基づく教育理念と本研究科の教育研究上の目的に共感する者。

後期課程のアドミッション・ポリシーです。

以上、教育学研究科では、アドミッション・ポリシーに従い、入学試験を実施し、学生、社会人、国の内外を問わず広く入学者を募集します。

入試について

入試種別		試験科目		
		口頭 試問	専門 科目	専門 外国語
前期	研究者養成コース 推薦	○	—	—
	研究者養成コース 一般	○	○	○
	高度教育コース 一般・外国人留学生	○	○	—
後期	推薦(※)	○	—	—
	一般	○	○	○

※研究者養成コースを修了し、引き続き後期課程への進学を希望する者に限る。

○ 研究者養成コースを目指す方の入試には教育学部からの内部推薦と一般入試があります。試験科目は、推薦入試では口頭試問のみ、一般入試では口頭試問、専門科目、専門外国語です。

○ 高度教育コースを目指す方の入試は一般入試と外国人留学生です。試験科目は口頭試問と専門科目です。

○ 大学院副専攻として、国連・外交コースの履修を希望している方は、別途履修審査を受ける必要があります。

入試について

		前期課程 (研究者養成コース)	前期課程 (高度教育コース)	後期課程	
第1次入試	出願期間	2021年8月23日(月)～8月30日(月) 期間内必着			
	試験日時	9月7日(火)	10:00-11:30 12:30-14:00		専門科目※ 専門外国語(英語)
		9月8日(水)	10:00-		口頭試問
	合格発表日	9月14日(火) 9:00より事務室前に掲示(速達で志願者全員に通知を発送)			
第2次入試	出願期間	2022年2月7日(月)～2月14日(月) 期間内必着			
	試験日時	2月24日(木)	10:00-11:30 12:30-14:00		専門科目※ 専門外国語(英語)
		2月25日(金)	10:00-		口頭試問
	合格発表日	3月3日(木) 9:00より事務室前に掲示(速達で志願者全員に通知を発送)			

※乳幼児教育研究領域は保育学、心理学等から出題する。※共生教育研究領域は教育学、心理学等から出題する。

今年度の入試の日程は、上記のとおりです。

○ 前期課程については、一次と二次の実施があるため、第一次入試で不合格となったとしても、第二次入試でもう一度受験することが可能です。

○ 後期課程については、第二次入試の一回のみとなります。

<前期課程> 推薦入試募集について

※2022年度募集は終了しました

募集領域・コース

乳幼児教育研究領域 研究者養成コース

共生教育研究領域 研究者養成コース

出願資格

次の各項のすべてに該当する者。

- ① 本学教育学部4年生に在籍し、その年度の卒業見込の者。
- ② 関西学院大学大学院教育学研究科を専願する（入試に合格した場合入学を確約できる）者。
- ③ 出願時、前年度秋学期までの通算GPAが3.00以上であること。

※ 入学後、専門外国語学力認定試験を受験するものとする

推薦願提出期間：2021年6月1日（火）～6月29日（火）

教育学研究科では、本学の教育学部4年生を対象に推薦入試制度を設けています。2022年度の募集については、終了しておりますが、スライドの①～③すべてに該当すれば出願することができます。

ただし、この方法で入学した者については、入学後、専門外国語学力認定試験を受験する必要があります。この試験は9月と2月の年2回実施しますが、在学中に合格することが、修了の条件となります。

<後期課程>推薦入試募集について

募集領域・コース

乳幼児教育研究領域

共生教育研究領域

出願資格

次の各項のすべてに該当する者。

- ①研究科博士課程前期課程研究者養成コースに在籍中で、修了見込の者。
- ②関西学院大学大学院教育学研究科後期課程を専願する（合格した場合には入学を確約できる）者。
- ③出願時、前年度秋学期までの通算GPAが3.00以上であること。

書類提出期間：2021年11月10日（水）～11月16日（火）

後期課程入試も、前期課程研究者養成コースに在学している者を対象に推薦入試制度を設けています。

取得できる免許・資格

- ・ 幼稚園教諭専修免許状
- ・ 小学校教諭専修免許状
- ・ 中学校教諭専修免許状（社会）
- ・ 高等学校教諭専修免許状（公民）

※専修免許状の取得にあたっては、
基礎となる一種免許状を取得済みまたは取得見込みの必要があります。

本研究科では幼稚園教諭、小学校教諭、中学校教諭（社会）高校教諭（公民）の専修免許状が取得できますが、これらは基礎となる一種免許状を取得済みまたは取得見込みの必要があります。

聖和キャンパスの生活



授業風景



研究報告会



メディア室



院生控室

○ 教育学研究科の授業は主に聖和キャンパスにあります大学院棟で行われています。これらの写真は大学院棟での授業風景です。

○ (右上) 研究発表会は、年に1回研究科に学ぶ学生と研究員の全員が参加して各自の研究成果を広め、意見交換をします。発表会には、教育学部および教育学研究科の教員が多数参加し、指導教員だけではなく様々な研究領域の教員がともに院生を育てようという環境を作っています。

○ このほか、学外では、大学院生が各々所属する学会において研究活動に参加しています。学会発表のための参加費・旅費等を補助する制度を設けています。

主な進路（就職先・進路）

- 大阪教育大学
- 関西学院初等部
- 関西学院幼稚園
- 高知県教育委員会（小学校）
- 神戸松蔭女子学院大学
- 奈良県教育委員会（小学校）
- 兵庫県教育委員会（小学校）
- 広島女学院ゲーンズ幼稚園
- 丸亀市教育委員会（幼稚園）
- 桃山学院大学



修了生の主な進路をここに示しています。

学費

2022年度入学生の学費は未定です。
参考までに2021年度入学生学費を掲載します。

(単位：円)

前期課程	
入 学 金	200,000 (200,000)
授 業 料	343,500 (687,000)
教育充実費	103,500 (207,000)
合 計	647,000 (1,094,000)

() 内は年額

(単位：円)

後期課程	
入 学 金	200,000 (200,000)
授 業 料	216,000 (432,000)
教育充実費	65,500 (131,000)
合 計	481,500 (763,000)

() 内は年額

教育学研究科での学費です。2022年度入学生の学費は未定のため、スライドには参考として2021年度入学生の学費を掲載しています。

ベーツ奨学金（関西学院大学大学院支給奨学金）

	ベーツ特別支給奨学金	ベーツ第1種支給奨学金
奨学金額 (年額)	学費相当額(万円未満切り捨て)	学費の1/2相当額(万円未満切り捨て)
	※学費=授業料+実験実習費+教育充実費 ※実験実習費は在籍する研究科で全員一律にかかる金額を対象とする	
出願資格	留学生以外の正規学生で、博士課程 前期課程及び後期課程、 専門職学位課程の新生	標準修業年限内に在学する留学生以外の正 規学生及び特別学生(社会人・外国大学卒業 者・一般)で、ベーツ特別支給奨学金を 受給していない学生
	学力により選考し、 家計事情は考慮しない。	学力により選考するが、 家計事情にも配慮する。
採用期間	1年間	
採用方法	各研究科推薦制	公募制
採用人数	56名	180名
交付方法	年額を春秋2回に分けて交付 *春学期は入学手続きと同時に行う	年額を春秋2回に分けて交付

関西学院大学では、院生を対象とした支給型の奨学金、ベーツ奨学金があります。

「特別支給」では学費相当額、「第一種支給」では学費の2分の1相当額が支給されます。出願資格や採用人数などはそれぞれ異なるので、詳しくは要項等をご確認ください。

また、ベーツ奨学金以外にも日本学生支援機構奨学金などの貸与型の奨学金もありますので、こちらも詳しくは要項などをご確認ください。



大学院生への研究奨励制度（大学院案内 P51）

名 称	支 給 額	期 間	支給人数	対 象
大学院博士課程後期課程研究奨励金	学費相当額	1年間	年間25名	若手研究者である博士課程後期課程の在学者のうち、研究能力が特に優れており、研究成果が期待できる者
リサーチ・アシスタント (RA)	月額100,000円 (または1時間あたり1,500円の時間給)	1年間 (更新可能)	別途定める	関西学院大学大学院の各研究科、研究所において、特定の研究課題または共同研究プロジェクトなどの研究補助を行う博士課程後期課程在学者
教学補佐 (TA)	担当業務により異なる 例)①学部学生の自習支援などの授業補佐 1課1課時あたり：月額11,200円 ②研究室・図書室・PC教室運営などの教育支援業務 課月額33,600円 課月額61,600円 ③試験監督など教務事務の補助：月額50,000円	1年間 (更新可能)	各研究科により定める *2018年度はM-Dで約401名 採用 (占職員の約39%)	大学院学生、大学院研究員、専門職大学院研修員または研究科研究員、授業の補佐、研究室・図書室運営などの教育支援業務、または教務事務の補助を行いつつながら研究できる制度
大学院奨励研究員	月額250,000円	1年間	年間5名以内	関西学院大学大学院博士課程後期課程に2年以上在学している者、または大学院博士課程後期課程に標準年限以上在学後退学し、博士課程後期課程入学後5年以内の者で、1年(標準年限)以内に博士學位論文を提出する見込みのある者(本職職に就いている者を除く)、文系研究科に限定
博士研究員	月額278,000円～378,000円	1年間 (更新可能)	理工学研究科：3名 その他は：別途定める	博士學位を有する者(人文・社会科学の分野においては博士學位を取得した者に相当する能力を有すると認められる者も可)で、大学院における研究の活性化の担い手になることが期待できる人物
大学院海外研究助成金	海外での学会発表(口頭発表もしくはポスター発表)、海外で行う調査、海外の大学で実施される短期講習時の参加費、交通費、宿泊費などを補助します。 支給金額は本人からの申請に基づき経費相当額の金額または一部(上限10万円・上限20万円の2種類)を支給します。	年間1回 (再申請可) ※ただし通課3期を超えることはできない	上限10万円：2人 上限20万円：30人	若手研究者である博士課程後期課程在学者および大学院研究員の海外における研究活動の支援・育成を目的として、海外における優れた個人研究や共同研究に要する経費を支給する助成金です。 英語で学会発表などを行う場合は、英語プレゼンテーション(スキル講座)参加取組(詳細は5月に掲示します)を受講するようにしてください。
研究成果公開促進助成制度	研究論文への投稿・掲載などに係る論文投稿料、論文審査料、論文掲載料および論文投稿のための外国語訳稿料の全部または一部を補助します。	1年間 (詳細は該当年度の応募要項を参照)	予算の範囲内で選考・採択	・博士研究員 ・大学院博士課程(前期・後期)在学者および大学院研究員 ・研究科研究員(詳細は該当年度の応募要項を参照)

< 大学院博士課程後期課程研究奨励金 >

優秀な若手研究者(後期課程)に学費相当額を1年間支給する制度。昨年度は、25名採用されています。

< 大学院海外研究助成金 >

海外での学会発表や調査、短期講習にかかる費用の補助。昨年度は、22名採用されています。

大学院案内の50ページ、51ページでは、さまざまな研究奨励制度について案内しています。奨学金のみならず、教学補佐、リサーチアシスタントなど、月額での報酬を得られる制度が大学院生には開かれています。



またお会いできることを楽しみにしています。

以上、教育学研究科の説明を終わります。

ありがとうございました。